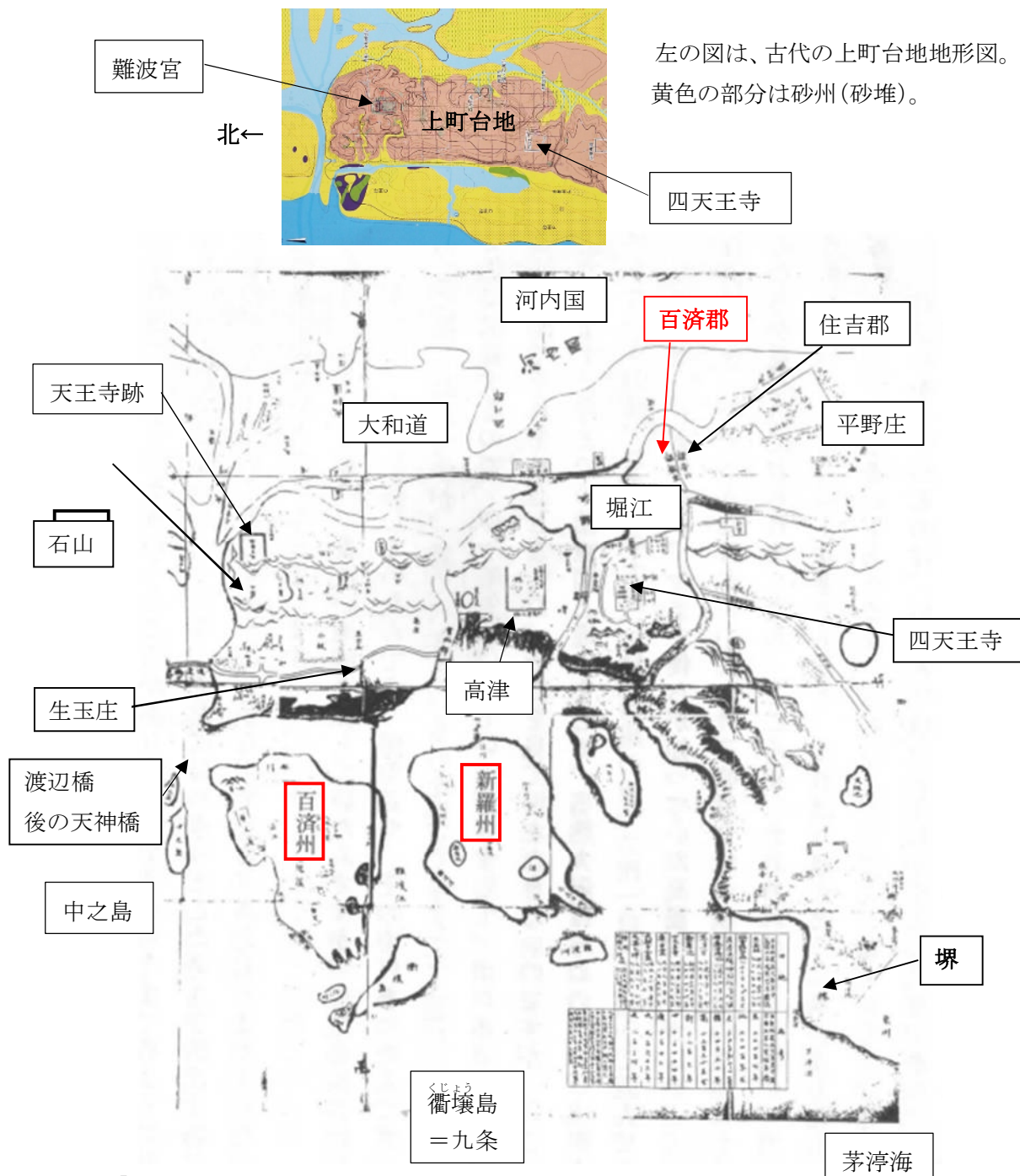


## 古地図にみる渡来人の痕跡 ～大阪～

メモ)鉄本 2022.11.23

大阪府内の渡来人の痕跡について情報収集。『前方後円墳』(藤田友治編著)に執筆されている小川光三氏が中之島図書館で見出された古地図を手掛かりに渡来系と思われる地名を文献に探してみた。



### 【渡来系の地名】

- ・高麗橋(大阪市中央区): 古代の港湾「難波津」の推定地、難波高麗館があったと言われる。
- ・百済(生野区、東住吉区): 市営バス停「百済停留所」、JR 貨物線の「百済駅」などがあった。
- ・百済川(生野区、堺市): 現平野川の古名は百済川であった。堺市では現在名も百済川。
- ・久太郎町(中央区): 一説に「久多良(くたら=百済)」が誤記され久太郎となった。



上の古地図は、大阪市立図書館デジタルアーカイブより 『難波往古図』 天保10年(1839)刊行

【上記地図の記述内容】

- ・「承德二載戊寅正月圖之(以下省略)」: 承德2年(1098)に作画されたものを安永6年(1777)に写本?
- ・「兎我野(とがの)」: 「仁徳天皇が兎我野で鹿の鳴き声を聞いて哀れんだ」という記事
- ・「猪鹿居(いかい)村」: 古代、猪(ブタの意)の飼育を任務とした「猪甘(いかい)部」の居住地。飛鳥時代以降、殺生を禁ずる仏教の普及により「猪甘部」は廃絶。『日本書紀』仁徳14年に「爲橋於猪甘津」と表れている。この地に鶴が多く集まったので「鶴之橋」と呼ばれるようになった。「コリアタウン」として有名。
- ・「百濟州」に見える寺社・土地名: 久宝寺、安曇寺、牛頭天王 船場、安良(あら)、木里、上難波  
「久太郎ノ里」=一説に「久多良(くたら=百濟)」が誤記され久太郎となった。
- ・「新羅州」に見える寺社・土地名: 志羅池、新羅州寄、長原、下難波  
「新羅」の当て字として、「志羅城」、「白木」、「白髪」などが使われている。
- ・「喜連」: 中国・呉から渡来した技術集団の集落。「くれ」が訛って「きれ」になったと考えられる。

【参考文献】

- 『前方後円墳』～その起源を解明する～ 藤田友治編著 ミネルヴァ書房 2000
- 『大阪の地名由来辞典』 堀田暁生編 東京堂出版 2010
- 『難波往古図』 大阪市立図書館 デジタルアーカイブ